

東海地域における農林水産物・食品の 輸出促進について (東海農政局の取組み①)



令和6年2月

東海農政局 経営・事業支援部 輸出促進課

目次



- 1.輸出促進に関する東海農政局の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p.2～
- 2.東海農政局における輸出産地の
輸出事業計画策定等に向けた支援体制・・・・・・・・・・・・・・・・p.3～
3. 輸出促進体制の強化による輸出事業者の裾野拡大・・・・・・・・・・・・・・・・p.5～

1. 輸出促進に関する東海農政局の取組

東海農政局では、2025年2兆円・2030年5兆円目標の達成に向け、東海農政局輸出産地支援対策本部を設置、輸出促進体制の強化による輸出事業者の裾野拡大等、以下の取組を実施しています。

東海農政局輸出産地支援対策本部の設置

- ・2030年（令和12年）の輸出額目標5兆円の達成に向け、東海農政局輸出産地支援対策本部を設置しました。
- ・輸出事業計画の目標達成に向けた支援や新たな輸出産地の掘り起こし等を行っています。

輸出促進体制の強化による輸出事業者の裾野拡大

- ・輸出事業計画策定に向けた支援や新たな輸出産地の掘り起こし等を行っています。

輸出事業計画の目標達成に向けた支援

- ・輸出事業計画の目標達成に向けた支援や新たな輸出産地の掘り起こし等を行っています。

金融機関や地域商社等との連携強化による新たな商流の構築

- ・金融機関を通じた輸出に対する各種支援策の紹介や金融機関が開催する輸出向けセミナーへの参加、地域商社や関係機関との定期的な連絡会議による意見交換等を行っています。

積極的な情報発信による輸出の機運の醸成

- ・「輸出のたまて箱」による輸出事業者の取組紹介や各種補助事業・輸出先国向けの規制情報、東海農政局輸出に取り組む優良事業者表彰等を行っています。

その他関係機関との連携強化

- ・東海地域の地方出先機関や各県、JETRO等と連携して、定期的な意見交換や輸出事業者向け補助事業に関する情報共有、セミナーの開催等の取組を行っています。

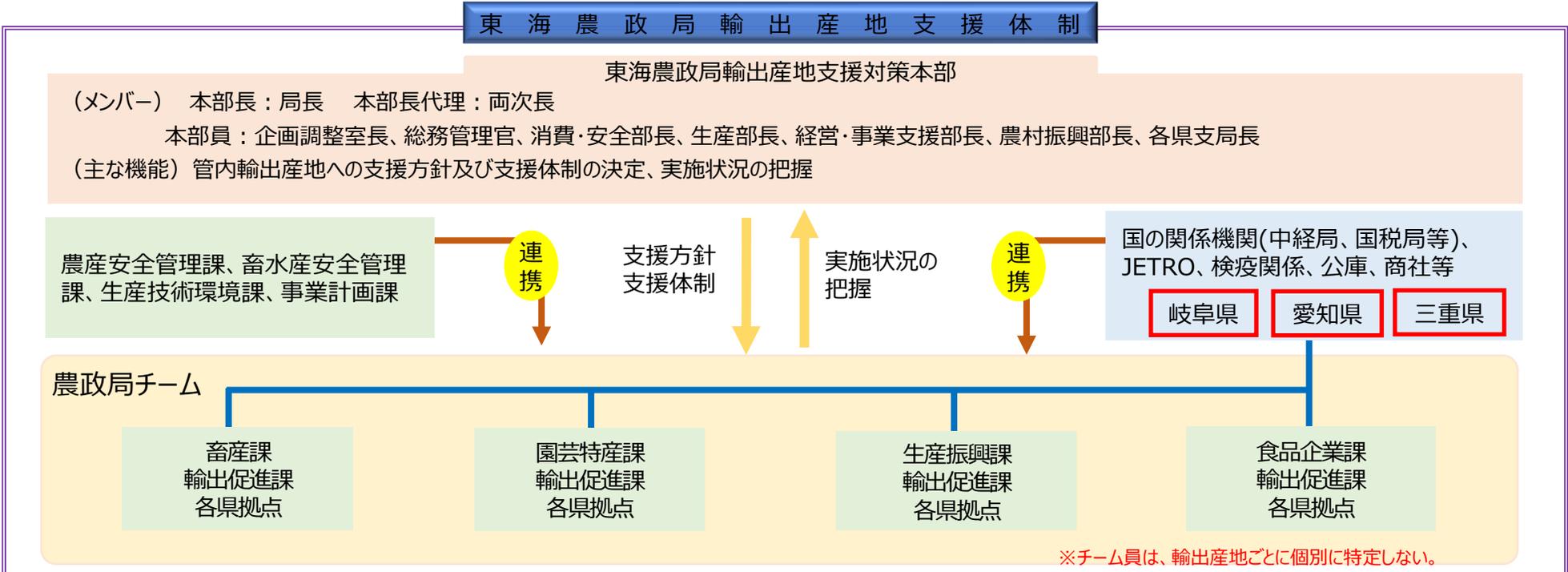
2.東海農政局における輸出産地等の輸出事業計画策定等に向けた支援体制

2030年（令和12年）の輸出額目標 5 兆円の達成に向け、管内において重点品目に限らず、加工食品を含めた幅広い品目において、更に輸出を促進していくことが必要です。

このため、東海農政局では、「東海農政局輸出産地支援対策本部」の下で農政局チームが引き続き連携し、次の対応方針に基づき、幅広く輸出産地・事業者の輸出促進を支援します。

～令和5年度対応方針～

- ・輸出促進体制の強化による輸出事業者の裾野拡大
- ・輸出事業計画の目標達成に向けた支援
- ・金融機関や地域商社等との連携強化による新たな商流の構築
- ・積極的な情報発信による輸出の機運の醸成



21品目112産地・事業者

《岐阜県》

- 牛肉・・・飛騨食肉センターを中心とした産地(高山市)
- かき・かき加工品・・・岐阜県(県内全域)
- いちご・・・岐阜県(岐阜市、本巣市、瑞穂市、揖斐川町)
- 菓子・・・(株)鈴木栄光堂(大垣市)

《三重県》

- かんきつ(うんしゅうみかん等)・・・三重県(熊野市、御浜町、紀宝町)
- いちご・・・三重県(伊賀市)
- 茶・・・三重県(全域)
- 合板・・・(株)日新(鳥取県、徳島県、三重県)
- ぶり・・・三重県(尾鷲市、紀北町、大紀町)
- たい(まだい)・・・三重県(南伊勢町、大紀町、紀北町、尾鷲市、熊野市)
- 真珠・・・三重県、愛媛県及び長崎県並びに兵庫県
- 菓子・・・井村屋グループ(株)(津市)
- 味噌・・・三重県(全域)
- 醤油・・・三重県(全域)

《愛知県》

- 鶏肉・・・丸トポトリー食品(株)を中心とした産地(豊橋市)
- 鶏卵・・・三栄鶏卵(株)GPセンターを中心とした産地(岡崎市)
- その他の野菜(れんこん)・・・愛知県(愛西市)
- 切り花(キク、グロリオサ、スイートピー、バラ等)・・・愛知県(田原市、豊川市)
- 茶・・・愛知県(全域)
- 菓子・・・春日井製菓(株)・ノザキ製菓(株)・松山製菓(株)(名古屋市)、杉本屋製菓(株)(豊橋市)
- 錦鯉・・・愛知県(豊田市)
- ソース混合調味料・・・(株)オリエンタル(稲沢市)
- 味噌・・・愛知県(全域)
- 醤油・・・愛知県(全域)

※このほか、酒類の輸出産地も多数指定。岐阜県31件、愛知24件、三重15件

3.輸出促進体制の強化による輸出事業者の裾野拡大

- GFP（ジー・エフ・ピー）とは、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称であり、農林水産省が推進する**日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト**。
- 平成30年8月31日、農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「**GFPコミュニティサイト**」を立ち上げました。
- 当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省がジェトロ、輸出の専門家とともに産地に直接出向いて輸出の可能性を無料で診断する「**輸出診断**」を平成30年10月から開始。
- 東海農政局管内で578の事業者が登録を行っています。



GFP登録者へのサービス提供

- 農林漁業者・食品事業者へのサービス
 - ・専門家による無料の輸出診断
 - ・GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
 - ・GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
 - ・輸出のための産地づくりの計画策定の支援
 - ・メンバー同士の交流イベントの参加
 - ・規制情報等の輸出に関連する情報の提供
 - ・セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
 - ・過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供
- 輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス
 - ・GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
 - ・GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
 - ・メンバー同士の交流イベントの参加
 - ・規制情報等の輸出に関連する情報の提供
 - ・セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
 - ・過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供

GFPの登録状況（2月6日時点）

GFP登録者数

区分	登録者数（東海）
農林水産物食品事業者	4,880（359）
流通事業者、物流事業者	3,973（219）
合計	8,853（578）

輸出診断申込状況

区分	
輸出診断申込数	1,430
うち訪問診断希望者	904
訪問診断完了数	872

GFPコミュニティ構築支援加速化対策委託事業（東海版）



○「稼げる輸出」の実現・拡大を図るため（輸出額目標：2025年2兆円、2030年5兆円）、令和5年5月に**東海地域の新たな輸出サポート体制（東海GFP）**を構築します。

○本事業では、新たに輸出に取り組む輸出スタートアップ事業者の掘り起こしや、セミナー・商談会の実施など、地域の実情に応じたきめ細やかな支援を実施します。【受託先：株式会社OKB総研】

事業内容

輸出サポートシステムの設置

輸出振興に関わる行政や関係機関で構成される支援体制を構築し、一元的に情報を発信します。

- ▶ 当該webサイト <https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/renkei/export/tokaigfp.html>
- ▶ 東海3県の行政機関・輸出支援の専門機関・JAグループ・商工会連合会等・商社・金融機関・輸出関連団体など

輸出スタートアップ事業者の掘り起こし + G F P 輸出診断の実施 & フォローアップ

輸出スタートアップ事業者の掘り起こしを行い、GFP訪問診断につなげます。
診断後、必要に応じて、個別の課題解決に向けた専門家派遣を行います。

セミナー・商談会・相談会等マッチング機会の創出

農林水産事業者の輸出スタートアップに向けた、輸出スキル向上や課題解決のセミナーを5回開催します。

（第1回～第3回は輸出に向けての基礎セミナー、第4回、第5回は模擬商談会や個別商談会を実施）

輸出スタートアップ事業者を中心とした入門・初心者セミナー、模擬商談、商談会を予定。

第4回 輸出商談スキルアップ&準備セミナーを開催しました！

- 第4回 輸出商談スキルアップ&準備セミナーを令和5年12月12日（火曜日）14：00～14：45にオンラインにて開催をいたしました。管内の農林水産物・食品事業者、地域商社、行政機関など、約70名の方にお申込みいただきました。
- これから輸出に取り組む事業者や輸出を始めたばかりの事業者を対象に、専門家講演としてジェトロ輸出プロモーター事業（農林水産・食品分野） 専門家の山本雄彦氏から「商談前の準備ポイントや効果的な商談テクニックを学ぶ」について講演を行いました。
- 個別模擬商談も同日開催され、管内の農林水産物・食品事業者など10事業者にご参加いただきました。
- 東海地域GFPコミュニティの創設（URL:<https://www.maff.go.jp/tokai/keiei/renkei/export/tokaigfp.html>）のサイトで後日、当日のセミナー動画を掲載する予定です。

セミナー内容等

輸出商談スキルアップ&準備セミナー
2023年12月12日

商談前の準備ポイントや効果的な商談テクニックを学ぶ

ジェトロ 輸出プロモーター事業専門家
山本雄彦
(Takehiko Yamamoto)

プレゼンシートの作成準備

食品輸出チャレンジのための優れたプレゼンシートとして「FCP展示会・商談会シート」があります。これを参考に、必要な情報の準備をしましょう。

が記入出来れば商談対応が可能に。

材料・添加物・製造工程も記入

英語版（韓国語・中国語）版⇒翻訳ツール

Copyright (C) 山本雄彦 All Rights Reserved.

7.商品レシピや食べ方を提案

How to make Dashi Stock

Ingredients

Preparation method

「日本式カレー」とは「Japanese-style curry」?

出典：ジェトロ・ハウス商品データベース

【専門家講演】

講師：山本 雄彦 氏（ジェトロ輸出プロモーター事業（農林水産・食品分野）専門家）
主題：「商談前の準備ポイントや効果的な商談テクニックを学ぶ」

【個別模擬商談】

講師：LTGソリューション株式会社
代表取締役 八ツ橋 公彦 氏
海外現地担当者（香港）

概要：国内輸出商社との模擬商談 商談力をレベルアップ

加工食品クラスターの組成と育成

○東海農政局は、東海3県（岐阜県、愛知県、三重県）の魅力ある加工食品の一層の輸出拡大に向け、食品事業者等が連携して輸出に取り組む「加工食品クラスター」の組成を支援しています。

○令和5年3月、岐阜県食品輸出研究会、愛知県食品輸出研究会、三重三八会、三重県農林水産物・食品輸出促進協議会、名鉄協商株式会社（事務局）を構成員とした「東海食品輸出コンソーシアム」組成され、農政局管内の食品事業者等が連携した取組を展開します。

東海食品輸出コンソーシアムの概要

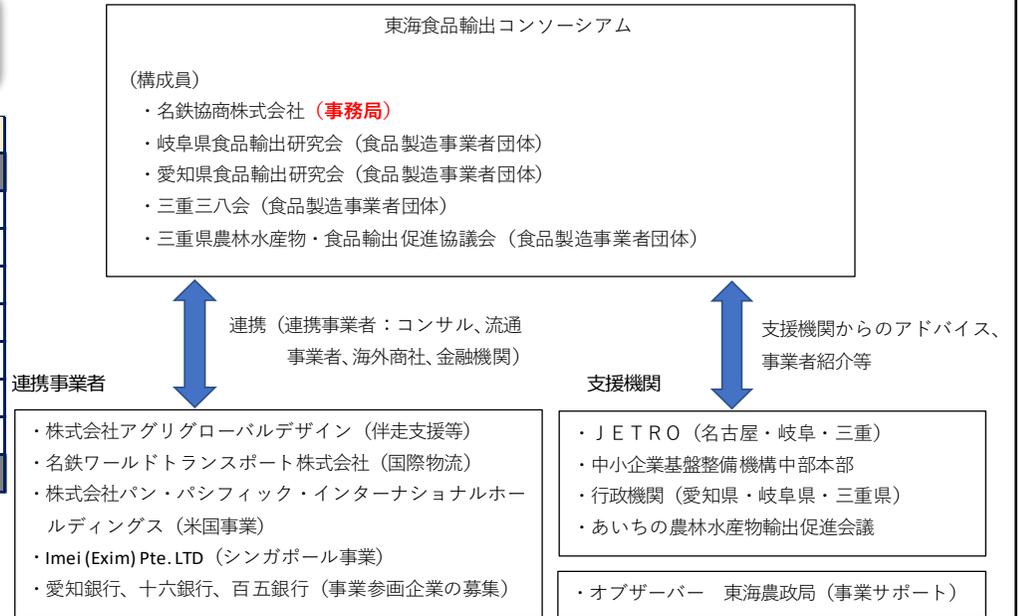
○令和5年度は、「加工食品クラスター緊急対策支援事業」を活用し、シンガポールでのマーケティング、インフルエンサー、レストランタイアップ等の企画のほか、Food Japan2023に出展。また、**シンガポール、米国（カリフォルニア、ハワイ）の量販店で実証販売「東海フェア」を実施し、東海3県の魅力ある加工食品をPRします。**

○初めて輸出に取り組む食品事業者の掘り起こしを行い、輸出に向けたサポートを実施します。

事業実施主体

令和5年度事業計画および実施体制

	施策名（シンガポール、米国）	実行予定時期	その他
1	マーケティング調査（シンガポール）	2023年6月～9月	
2	インフルエンサー企画（シンガポール）	2023年8月～10月	1回以上
3	レストランタイアップ企画（シンガポール）	2023年9月～10月	1チェーン
4	飲食店企画東海フェア（シンガポール）	2023年9月～10月	1件以上
5	FOOD JAPAN2023（シンガポール）	2023年10月	10/11～13
6	量販店企画東海フェア（シンガポール）	2023年11月～12月	20店舗 1ヶ月間
7	EC企画（海外商社連動）（シンガポール）	2023年11月～12月	継続
8	量販店企画東海フェア PPIH（米国）	2024年1月～2月	16店舗 1ヶ月間
9	東海エリア内事業者掘り起こし	通年	



東海食品輸出コンソーシアムの事業概要



マーケティング調査 (8月19日～22日)

シンガポールのローカルスーパー及び飲食店等19件で調査を実施。



インフルエンサー企画 (9月30日オフサイトミーティング)

シンガポールのインフルエンサー向けに商品即売会を実施。



Food Japan2023 (10月11日～13日)

ASEAN最大の日本食品見本市に輸入商社連動型による出展で東海エリアの各商品をバイヤー及び消費者にアピール。



レストランタイアップ企画 (12月～1月)

日本料理店「厨dining」、「RAMEN & CHARCOAL BAR TORASHO」で東海地域の産品を用いたメニューを提供。



シンガポール量販店企画 (1月12日～2月2日)

「東海フェア」として量販店にて、シンガポールでは日系スーパーのIrohaMart、アメリカではパン・パシフィック・インターナショナル (PPIH) のDonQuijoteにおいて、東海地域の商品を販売します。



アメリカ (ハワイ、ロサンゼルス) 量販店企画 (1月17日～2月21日)



1月10日から1月14日に、農政局輸出促進課の職員1名が現地量販店企画のスタートに合わせて、シンガポールに出張しました。

★在シンガポール大使館、JETROシンガポール、金融機関・・・その他、現地の飲食事業者を訪問し日本食の普及や東海の農林水産物・食品の輸出の可能性について意見交換等を行いました。